

平成19年度豊かなむらづくり全国表彰事業

内閣総理大臣賞

農林水産大臣賞

こざがわ ひらい 古座川ゆず平井の里（和歌山県古座川町）



「古座川ゆず平井の里」で働く女性達

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

かつて主産業は林業であったが、林業不振により過疎化が急速に進んだ。昭和40年代から、自立できる農業をめざしてユズ栽培に取り組み始めたが、価格の変動等により、経営は順調ではなかった。「地域づくり研修会」を契機に、生産組織、女性による加工組織等が一体となって「ユズ」を中心とした生産・加工・販売の一元化や都市との交流事業などを通じた農業経営の安定、農村環境保全、雇用の機会づくりなど、地域全体の活性化につなげようという目標をかかげ、平成16年4月、農事組合法人「古座川ゆず平井の里」の設立に到った。

（２）むらづくりの内容

ユズ生産・加工・販売の一元化

農事組合法人として設立し、ユズの生産、加工、販売を1組織に一元化することで事業の統合・効率化を図り、また多様な販売先を開拓することにより、収益の増加を実現した。

新たな担い手の創出

高齢化が進むユズ生産者の作業受託を行い、遊休農地化を防いできた。さらに当組織自体が地域の農業生産の担い手となるべく、直接ユズ園を借り受けて栽培作業

を行い、栽培面積の拡大を図ることとしている。

情報発信と交流促進

情報誌「ゆずむすめ新聞」の発行によって、地区内外へ向けて平井地区の生活状況等を発信し、これを見て都会より訪れる人が多く、体験希望者の受け入れも行っている。

若者の定住促進、女性の経営参画

当組織の常勤従業員のうち 30 代以下の多くが当組織設立後リターン等で平井及び周辺地域に定住した人であり、当組織設立が若者の定住促進に寄与している。また女性組合員が 65% を占め、特に加工、販売部門では女性の力で運営、商品開発、広報、販路開拓を行っている。

地産地消、食農教育の実践

ユズ加工品、果実の地元での消費拡大に向けて、地域のイベントや直売所に出店するとともに、地域の食材、地域に伝わる料理にこだわった仕出し料理・弁当の販売を行っている。

小中学生や大学生に対してのユズ収穫体験等の受け入れを行うなど食農教育を実施している。平井地区やユズに関心を持ち、その後も平井の里を訪れる人も多い。



平井集落全景



ゆず農園



加工場での作業状況



ゆず加工品